

進行管理・評価制度

○歴史的風致維持向上計画認定都市に対して、以下の観点から、進捗評価、中間評価・最終評価からなる進行管理・評価制度を導入。

①PDCAサイクルの導入により、計画を着実に推進

②協議会、有識者等の第三者の客観的な視点を取り入れることにより、計画の質を担保

③計画の進捗状況を公開することにより、アカウンタビリティを確保

上田市歴史的風致維持向上協議会

<進捗評価> 毎年度実施

個別事業（第6章）

文化財保存・活用の方針（第5章）

①施策・事業の進捗状況（アウトプット）の評価【自己評価】

・組織体制、景観形成施策、整備及び管理事業、文化財の保存活用、効果・影響等

<中間評価／最終評価> 中間年度及び最終年度に実施

②計画の達成状況（アウトカム）の評価【自己評価】

中間：5年目（R9）
最終：10年目（R14）

・方針の達成状況、計画の波及効果、歴史的風致の維持向上の状況について評価

③事業の質の評価【外部評価】

・歴史・文化、景観等の観点から適切な整備かなど、質について外部有識者等による評価

2期計画へ反映

協議会委員の皆様から

御意見をいただきます。

令和5年度進行管理・評価シート
上田市 歴史的風致維持向上計画（令和5年2月15日認定）

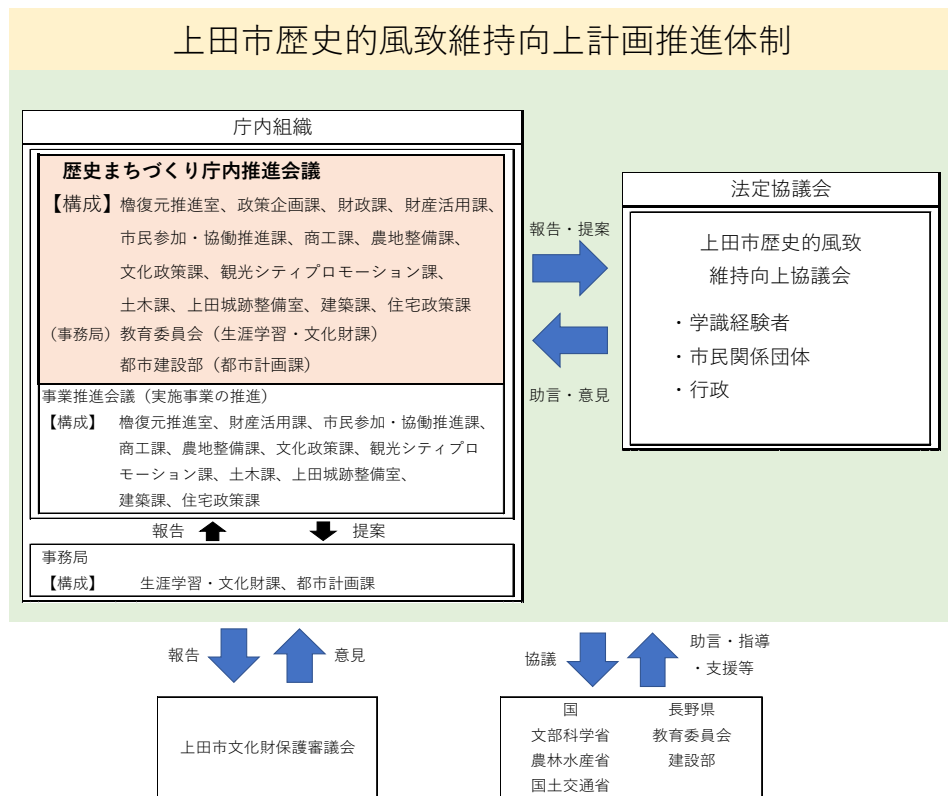
□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 上田市景観計画等との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 上田城跡武者溜り整備事業	3
2 上田城跡本丸櫓復元整備事業	4
3 指定文化財防災設備設置推進事業	5
4 北国街道西部地区歴史的建造物調査	6
5 城下町地区歴史的建造物調査	7
6 上田映劇建造物調査	8
7 重要文化財等修復補助事業	9
8 新参町線無電柱化及び景観形成事業	10
9 天神町新屋線無電柱化事業	11
10 柳町景観形成事業	12
11 空き家情報バンク事業	13
12 新参町厩裏線景観形成事業	14
13 無形民俗文化財後継者育成補助事業	15
14 活力あるまちづくり支援金事業	16
15 ふるさと上田先人顕彰事業	17
16 住民自治組織によるまちづくり	18
17 地域学習推進事業	19
18 文化財de文化祭	20
19 景観ウォッチング	21
20 「観光地・上田」の誘客促進事業	22
21 日本遺産推進事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存(文化財調査・指定・保存管理・活用等)について	24
2 文化財の修理・整備等について	25
3 文化財の防災に関する取組について	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 上田市歴史的風致維持向上計画が認定 他22件	27～28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光地来訪者の状況	29
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
計画の推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	上田市における計画の推進体制は、「歴史まちづくり庁内推進会議」において計画の業務調整や進捗管理などを行うとともに、法定協議会である「上田市歴史的風致維持向上協議会」に計画の進捗状況などについて報告・提案し、助言や意見を得ながら計画の推進や変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事務局の生涯学習・文化財課と都市計画課が連携して事業を推進している。 令和4年度まで「歴史まちづくり庁内調整会議」で計画の策定を行ってきた体制から、令和5年度より体制を改め「歴史まちづくり庁内推進会議」を開催し、担当事業の確認や今後の進捗管理・報告における意見聴取を行った。(書面開催も含め計2回実施)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	関係課が分かれており、今後の庁内の連携した取り組みを課題とするため、各課と歴史まちづくりの意識共有を進めて計画の推進を図りたい。		

状況を示す写真や資料等



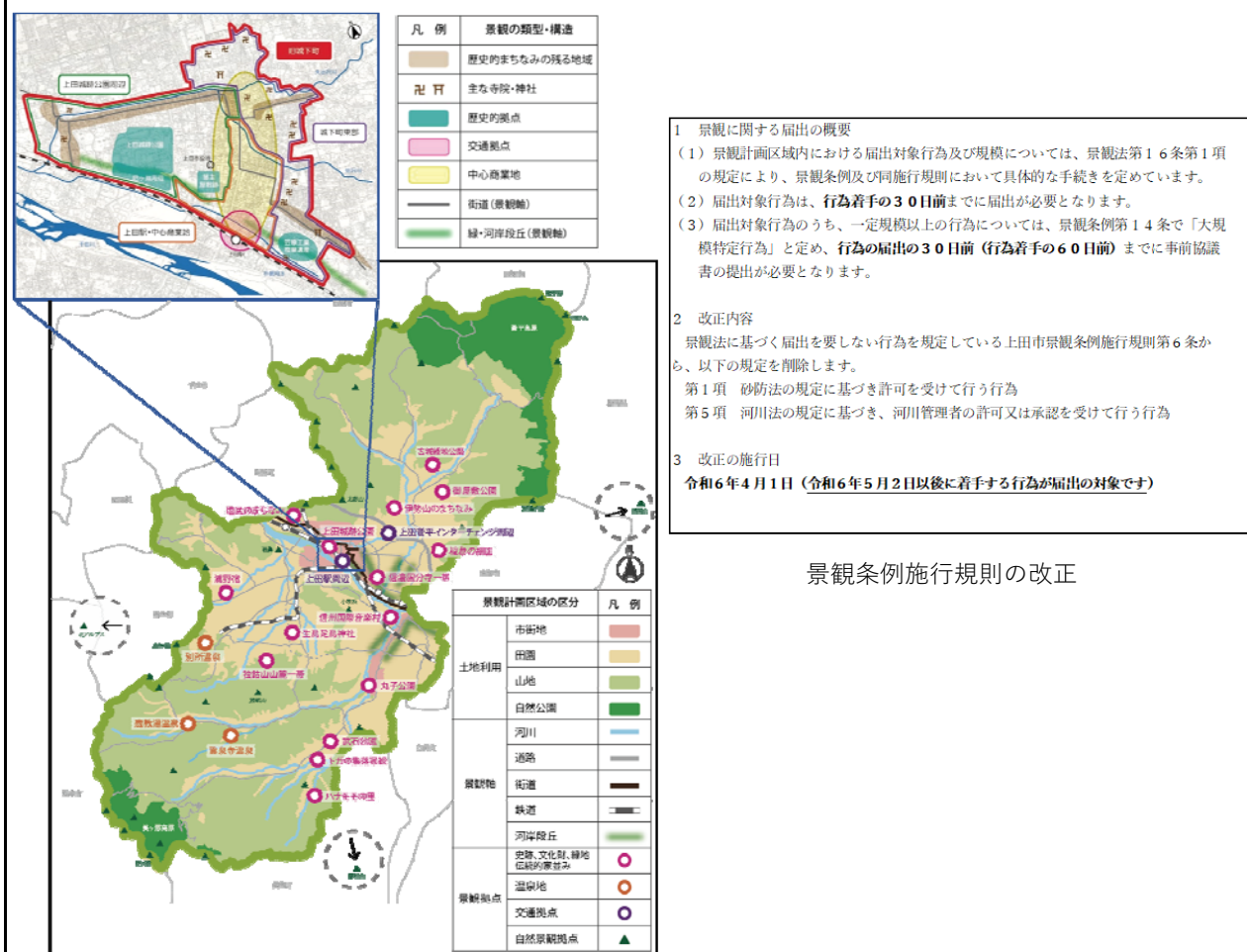
歴史的風致維持向上計画の実施体制図

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
上田市景観計画等との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	「上田市景観計画」は景観法に基づき、「歴史と文化の薫り高い風格ある景観づくり」等の4つの基本目標を掲げ、美しい自然や歴史と文化が生きる魅力ある景観づくりをより効果的に進めていくことを目的として策定された。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成24年策定の上田市景観計画に基づき、一定規模の建築行為等に対し届出を確認し、景観形成基準への適合を促した。 (届出件数 令和5年度29件(11月末時点)) ・砂防法及び河川法の規定に基づき許可等を受けて行う行為について、景観届出を要しないとする規定を景観条例施行規則から削除する改正(施行日令和6年4月1日)を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		景観条例施行規則の一部改正をしたため、市ホームページやチラシにより周知を図りたい。	

状況を示す写真や資料等



上田市景観計画における景観の種類・構造図
(左上：旧城下町(拡大)／右下：上田市全域)

- 1 景観に関する届出の概要
 - (1) 景観計画区域内における届出対象行為及び規模については、景観法第16条第1項の規定により、景観条例及び同施行規則において具体的な手続きを定めています。
 - (2) 届出対象行為は、**行為着手の30日前**までに届出が必要となります。
 - (3) 届出対象行為のうち、一定規模以上の行為については、景観条例第14条で「大規模特定行為」と定め、**行為の届出の30日前(行為着手の60日前)**までに事前協議書の提出が必要となります。
- 2 改正内容

景観法に基づく届出を要しない行為を規定している上田市景観条例施行規則第6条から、以下の規定を削除します。

第1項 砂防法の規定に基づき許可を受けて行う行為

第5項 河川法の規定に基づき、河川管理者の許可又は承認を受けて行う行為
- 3 改正の施行日
令和6年4月1日(令和6年5月2日以後に着手する行為が届出の対象です)

景観条例施行規則の改正

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
上田城跡武者溜り整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和10年度	
支援事業名	令和4年度～: 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 令和5年度～: 同上 令和6年度～: 都市構造再編集集中支援事業(国庫補助)	
計画に記載している内容	上田城跡に「武者溜り」を整備するため、整備予定場所に立地している「旧市民会館」を解体し、石垣や堀、土塁の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
復元整備の根拠となる客観的情報の収集を行うため、二の丸東虎口櫓台石垣、部塀台石垣及び三十間堀跡等を発掘調査した。また、武者溜りの復元に向けた具体的な整備方針やスケジュールを定めた「武者溜り基本計画」を策定するとともに、旧市民会館解体の実施設計に着手した。 令和5年度末 ①発掘調査進捗率67%(基準: 令和6年度100%) ②武者溜り基本計画策定100%(基準: 令和5年度100%) ③武者溜り整備進捗率5%(基準: 令和10年度100%)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	客観的情報を収集するため、武者溜り周辺の発掘調査を継続 復元整備に向けた具体的な整備方針や事業内容を検討	
状況を示す写真や資料等		
 冠塀台石垣の発掘調査  三十間堀の発掘調査  部塀台石垣の発掘調査  二の丸東虎口石垣の発掘調査		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
上田城跡本丸櫓復元整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	令和4年度～: 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 令和5年度～: 同上		
計画に記載している内容	上田城跡本丸の隅櫓4棟および土堀、西虎口櫓門の復元的整備の実現に向け、調査研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
復元整備の根拠となる客観的情報を収集するため、復元資料収集に向けた懸賞金事業及び北東隅櫓跡等の発掘調査を実施した。また、復元に向けた機運醸成を図るため、市立博物館・市内公民館等でのパネル展やシンポジウムのほか、上田城紅葉まつりでの復元PRブース等を実施した。			
令和5年度末 ①機運醸成進捗率15%:基準 令和8年度末) ②発掘調査進捗率20%:基準 令和7年度末) ③復元整備に向けた史跡上田城跡整備基本計画の策定作業20%:基準 令和6年度末) ④櫓及び櫓門の復元的整備0%:基準 令和13年度末)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	客観的情報を収集するため、残り4つの櫓及び西虎口櫓門の発掘調査を継続 復元整備に向けた具体的な整備方針を検討		
状況を示す写真や資料等			
 懸賞金収集事業  本丸北東隅櫓跡  上田城パネル展  上田城シンポジウム2023  上田城復元の夢を叶える市民の会によるPR  紅葉まつり復元PRブース			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
指定文化財防災設備設置推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	建造物を中心とした重要文化財及び県・市指定文化財に対する防災設備設置を推進し、補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財である国分寺三重塔について、防災設備の新設及び更新を検討している。施工に向け手続きを進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 信濃国分寺三重塔  放水銃  ポンプ小屋 (左)			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
北国街道西部地区歴史的建造物調査			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査を基に北国街道西部地区の歴史的建造物の詳細調査を行う。大学研究者の協力を得て歴史的・文化的特徴を明らかにするとともに、建築士、市民団体等の地元関係者の意見を聴きながら保存・活用の方策を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
塩尻地区に位置する養蚕家屋について調査を実施。登録有形文化財に向け手続きを進めている。また、信州大学工学部梅干野研究室で実施している同地区における明治期の養蚕家屋群の復元的考察について資料提供等を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査費用に係る財源の確保が課題。		
状況を示す写真や資料等			



北国街道西部地区の町並みと歴史的建造物

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
城下町地区歴史的建造物調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査を基に城下町地区の歴史的建造物の詳細調査を行う。大学研究者の協力を得て歴史的・文化的特徴を明らかにするとともに、建築士、市民団体等の地元関係者の意見を聴きながら保存・活用の方策を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度具体的な調査は実施していないが、城下町景観を形成している建造物のうち、上田城に関連する建造物調査の実施に向けて調整を進めている。また、それ以外の個別の建造物についても今後所有者の同意が得られたものについては調査に向けて手続等を進める予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査費用に係る財源の確保が課題。		
状況を示す写真や資料等			



歴史的建造物の調査



城下町地区の町並みと歴史的建造物

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
上田映劇建造物調査		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和6年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	文化財登録制度の活用を念頭においた建造物調査を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
調査成果を基に所有者と今後の保存・活用や文化財登録について協議を進める予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査は終了しているが、今後の保存・活用の基となる財源の確保が課題。		
状況を示す写真や資料等			
 上田映劇の外観（令和4年）  上田映劇の内部（令和4年）			

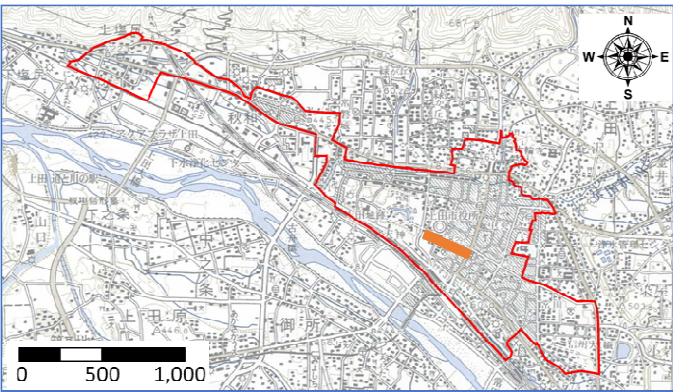
評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度			
重要文化財等修復補助事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和5年度～令和14年度					
支援事業名						
計画に記載している内容	重要文化財及び県・市指定文化財の保護を推進し、修復等の経費に対し補助を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
本年度、市指定文化財である常楽寺本堂の茅葺屋根の修復に対し、補助を実施。今後、重要文化財である中禅寺薬師堂の茅葺屋根の修復の補助を検討中。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
 常楽寺本堂茅葺屋根修復前  常楽寺本堂茅葺屋根修復後						

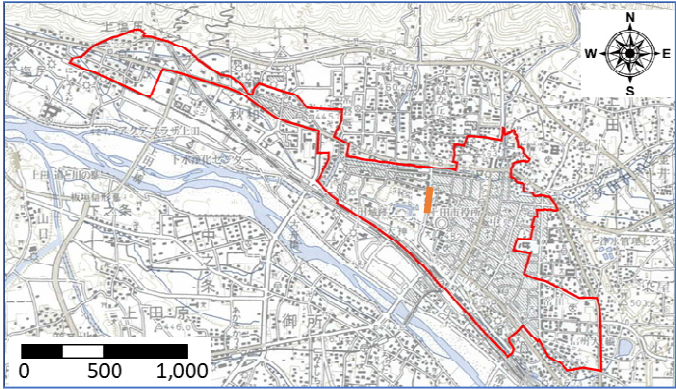
評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
新参町線無電柱化及び景観形成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和6年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(平成29年～令和元年) 無電柱化推進計画事業(令和2年～令和5年) 街なみ環境整備事業(令和4年～令和7年)		
計画に記載している内容	市街地から上田城跡公園につながる新参町線の無電柱化及び、歩道美装化を行うとともに、隣接箇所の広場整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度 広場の整備終了 令和5年度 無電柱化事業 (計画期間累計) 実績済みL=380m/計画延長L= 450m(進捗率 84%)(令和5年11月末時点) 歩道美装化事業 (計画期間累計) 実績済みL=300m/計画延長L= 510m(進捗率 58%)(令和5年11月末時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和6年度も継続して事業を進める。		
状況を示す写真や資料等			
 事業位置			
			
整備前		整備後 (イメージ)	
			
整備前		整備後	

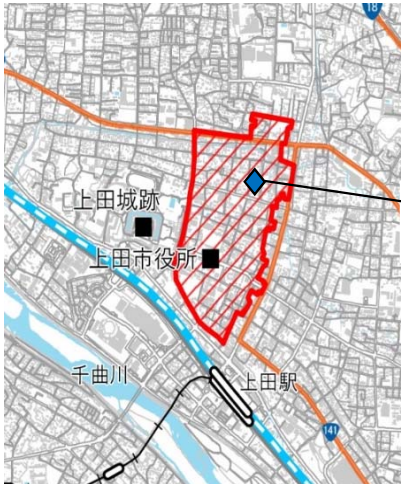
評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
天神町新屋線無電柱化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	都市構造再編集中支援事業、市単独事業		
計画に記載している内容	上田城二の丸虎口跡の東側を通る天神町新屋線を無電柱化(約250m)することにより、防災対策と城跡周辺の景観保全を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度 無電柱化事業(計画期間累計) 実績済みL= 0m/計画延長L=250m(進捗率 0%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	関連事業者と協議を進め、令和6年度に詳細設計を委託する予定。		
状況を示す写真や資料等			
 事業位置			
 上田城跡 二ノ丸虎口 上田市立第二中学校 無電柱化対象の電柱			
 上田城跡の桜と電線			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
柳町景観形成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和4年度～令和7年度		
支援事業名	街なみ環境整備事業(令和4年～令和7年)		
計画に記載している内容	北国街道の趣を残す柳町地区の景観整備(景観水路の美装化等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市道原町生塚線の水路美装化のため、木製の水路蓋を街並みに合った擬石蓋に変更する。 (L≒180m)(令和5年11月末時点) 民間建物修景について、地域の関係者と打ち合わせを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	民間建物修景については、事業検討委員会を設置して検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
 原町生塚線 位置図  ➡  整備前(木蓋) 整備後(擬石蓋イメージ)			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
空き家情報バンク事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名

計画に記載している内容 養蚕家屋・古民家を含む「空き家」の情報提供、利用者と所有者とのマッチングを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1 空き家登録状況(令和5年度) 空き家登録件数 24件 空き家情報利用希望者登録数 119人
 2 契約成立件数(令和5年度) 21件
 3 問合せ件数(令和5年度) 物件提供関連 113件 物件利用関連 323件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

老朽危険空家については、危険回避等のため除却(解体)を推進していることから、保存対象とする空き家について、今後関係課と協議を行う。

状況を示す写真や資料等

◎物件提供登録／物件利用登録件数

※1 売買、賃貸の両方で登録された物件があるため小計と合いません。
 ※2 解消された空き家とは、民間売買などに移行して空き家ではなくなった物件数

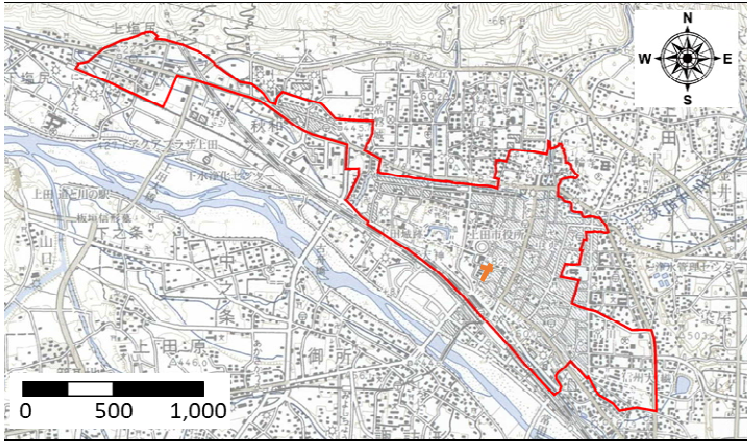
	物件登録総件数			利用希望者登録			成約数			解消された 空き家数※2	計
	小計	売買	賃貸	小計	住替希望	移住希望	小計	売買	賃貸		
H27年度	37	31	6	62	16	46	14	12	2	18	81
H28年度	39	34	5	99	47	52	20	18	2		
H29年度	45※1	39※1	8※1	111	49	62	29	20	9		
H30年度	35	33	2	115	62	53	15	12	3	6	21
R01年度	22	16	6	118	56	62	17	16	1	3	20
R02年度	30※1	27	5※1	177	79	98	20	16	4	9	29
R03年度	32	30	2	146	52	94	30	26	4	5	35
R04年度	52	45	7	166	79	87	29	25	4	7	36
R05年度	24	24	0	119	33	86	21	18	3	6	27
計	316※1	279※1	41※1	1113	473	640	195	163	32	54	249

◎物件提供／物件利用問い合わせ件数

	物件提供者	利用希望者				計
		小計	住替希望	移住希望	不明	
H27年度	57件	125件	42	64	19	182件
H28年度	161件	209件	71	111	27	370件
H29年度	137件	240件	73	120	47	377件
H30年度	130件	312件	115	108	89	442件
R01年度	127件	263件	74	122	67	390件
R02年度	140件	423件	122	214	87	563件
R03年度	139件	346件	90	178	78	485件
R04年度	161件	445件	164	194	87	606件
R05年度	113件	323件	71	177	75	436件
計	1165件	2686件	822件	1288件	576件	3851件

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
新参町厩裏線景観形成事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和4年度～令和7年度		
支援事業名	街なみ環境整備事業(令和4年～令和7年)、市単独事業		
計画に記載している内容	市指定文化財「上田藩主居館表門及び土塀・濠・土塁」周辺の景観整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度の実施に向けて、歩行者の快適性を考慮し、整備内容について検討中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観整備の内容や実施時期等について、今後関係者と協議を進める。		
状況を示す写真や資料等			
 事業位置			
 新参町厩裏線 新参町厩裏線歩道等美装化(イメージ)			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財後継者育成補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	市指定無形民俗文化財等の保存団体へ後継者育成のための補助を、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得て行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定無形民俗文化財等の保存団体に向け助成事業を周知、実施。令和5年度は10団体が交付決定済み。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各団体における後継者育成が課題。必要に応じて個別に相談等の対応をする。		
状況を示す写真や資料等			
令和5年度 交付決定団体一覧			
団体名		無形民俗文化財名	交付額(千円)
1	下室賀無形文化財保存委員会	下室賀三頭獅子	30
2	下之郷三頭獅子舞保存会	下之郷三頭獅子	30
3	岳の幟保存会	岳の幟	30
4	室賀水上神社三頭獅子・ささら踊り保存会	上室賀三頭獅子	30
5	常田獅子保存会	常田獅子	30
6	新町氷上王子神社太々 神楽保存会	氷上王子神社大神楽獅子舞	30
7	太郎山太々 神楽保存会	太郎山神社太々 神楽	30
8	東前山獅子舞ささら踊り保存会	前山三頭獅子	30
9	保野祇園祭保存会	保野の祇園祭	30
10	房山獅子保存会	房山獅子	30
		(合計)	300

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度																
項目		現在の状況																	
活力あるまちづくり支援金事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																	
事業期間	令和5年度～令和14年度																		
支援事業名	市単独事業																		
計画に記載している内容	地域の歴史文化などの魅力を高め、活力を生み出す活動に支援金を交付し、地域活性化とまちづくりの推進を図る。市内全域や住民自治組織単位の地域で実施される事業・活動を対象としている。																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																			
令和5年度活力あるまちづくり支援金事業において採択された3団体(支援金事業全体では18団体が採択)が行う、地域の歴史文化やまちづくりなど地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	活力あるまちづくり支援金は最大で3年までの補助(1年ごと審査が必要)となる。補助の期間が終了した団体がその後も継続して事業を行っているかどうか、場合により団体に対し聴き取りなども必要となる。																		
状況を示す写真や資料等																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>団体名</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上田南部</td> <td>令和に盆踊りを開催する会</td> <td>令和に盆踊りを復活開催</td> <td>上田市民やお盆に帰省をされている方、観光で来られている方々に、昔ながらの盆踊りを通して交流・親睦を図り、伝統の踊りと地域の魅力を伝え地域の活性化を図る。</td> </tr> <tr> <td>上田西部</td> <td>りんくる Nekogawala (ねこ瓦を愛する会)</td> <td>地域文化の周知・緑化事業</td> <td>有形文化財の一つと捉えられる「ねこ瓦」を周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動を繋げ、世代間の交流や地域活性化を図る。</td> </tr> <tr> <td>上田全域</td> <td>信州上田繭クラブ 「繭友」</td> <td>映画「シルク時空をこえて」上映とワークショップ</td> <td>シルクの歴史に関する映画やワークショップにより、繭に触れる機会を創出し、「蚕都上田」の歴史と伝統文化を継承する。</td> </tr> </tbody> </table>				地域	団体名	事業名	事業内容	上田南部	令和に盆踊りを開催する会	令和に盆踊りを復活開催	上田市民やお盆に帰省をされている方、観光で来られている方々に、昔ながらの盆踊りを通して交流・親睦を図り、伝統の踊りと地域の魅力を伝え地域の活性化を図る。	上田西部	りんくる Nekogawala (ねこ瓦を愛する会)	地域文化の周知・緑化事業	有形文化財の一つと捉えられる「ねこ瓦」を周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動を繋げ、世代間の交流や地域活性化を図る。	上田全域	信州上田繭クラブ 「繭友」	映画「シルク時空をこえて」上映とワークショップ	シルクの歴史に関する映画やワークショップにより、繭に触れる機会を創出し、「蚕都上田」の歴史と伝統文化を継承する。
地域	団体名	事業名	事業内容																
上田南部	令和に盆踊りを開催する会	令和に盆踊りを復活開催	上田市民やお盆に帰省をされている方、観光で来られている方々に、昔ながらの盆踊りを通して交流・親睦を図り、伝統の踊りと地域の魅力を伝え地域の活性化を図る。																
上田西部	りんくる Nekogawala (ねこ瓦を愛する会)	地域文化の周知・緑化事業	有形文化財の一つと捉えられる「ねこ瓦」を周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動を繋げ、世代間の交流や地域活性化を図る。																
上田全域	信州上田繭クラブ 「繭友」	映画「シルク時空をこえて」上映とワークショップ	シルクの歴史に関する映画やワークショップにより、繭に触れる機会を創出し、「蚕都上田」の歴史と伝統文化を継承する。																

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
ふるさと上田先人顕彰事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	上田市ゆかりの先人をパネル等の展示によって紹介する。上小教育会館での常設展示とともに市内巡回展示を企画する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
信州上田ふるさと先人館(上小教育会館内)での常設展示のほか、市内公民館等の事業と連携し偉人・先人を紹介するパネル展を実施。 先人館来館者数:314人 巡回展示:6会場 (令和5年11月30日現在)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	上田にゆかりある先人の業績を広く周知することが必要。地域連携や民間施設の活用などを行い、顕彰活動の充実を図る。		
状況を示す写真や資料等			
 信州上田ふるさと先人館（常設展示）  信州上田ふるさと先人館（常設展示）  出張！どこでも先人館（巡回展示）  出張！どこでも先人館（巡回展示）			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度												
項目		現在の状況													
住民自治組織によるまちづくり		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手													
事業期間	令和5年度～令和14年度														
支援事業名	住民自治組織交付金事業														
計画に記載している内容	自主的・自立的に地域の課題解決・活性化に取り組む「住民自治組織」に交付金を交付し、歴史顕彰や伝統行事の継承といった地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で															
・「住みよい武石をつくる会」では、「武石八景」を武石地域の歴史的な名所として広く周知し、後世に伝えるため、令和3年度より自然生活環境部会の活動として、八景周辺の整備・清掃や案内看板の作成・設置などの活動を行っている。 ・「塩田まちづくり協議会」では、塩田地域で伝承されている神楽やはやしを鑑賞する「塩田平伝統芸能大会」を地元の公民館で開催。本年度は西前山お囃子保存会、石神大神楽保存会、新町氷上王子神社大々神楽保存会により獅子舞やおはやしなどが披露された。地域全体で地元の伝統を大事にし、無形民俗文化財の継承として地域の伝統芸能を一度に見てもらう良い企画となった。															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)														
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域住民が文化財への意識を高め、理解を深める取り組みが必要となる。 そのうえで、住民自治組織を中心とした自主的・主体的な活動により持続的な保存継承につながるための支援を行う。														
状況を示す写真や資料等															
【武石八景】 江戸時代後期、武石村の再興を図るため上田藩から郡奉行(こおりぶぎょう)相馬(そうま)与右衛門(よえもん)(通孝(みちたか))が派遣され、土地台帳・年貢台帳を基に現地調査を行い村の再興を図りました。 その際、村中を検分して回った際、目に映り心に沁みだした武石の里の情景を和歌に詠い残したものが「武石八景」として伝わっています。しかし現在、地域でもそのことを知る住民は少なくなっているため、歴史顕彰の活動を続けています。 <table border="0"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2か所</td> <td>・乱橋瀑布</td> <td>・信廣寺晩鐘</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2か所</td> <td>・横沢慕雪</td> <td>・長尾秋鹿</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>2か所</td> <td>・大宮岸松</td> <td>・小山秋月</td> </tr> </table>				令和3年度	2か所	・乱橋瀑布	・信廣寺晩鐘	令和4年度	2か所	・横沢慕雪	・長尾秋鹿	令和5年度	2か所	・大宮岸松	・小山秋月
令和3年度	2か所	・乱橋瀑布	・信廣寺晩鐘												
令和4年度	2か所	・横沢慕雪	・長尾秋鹿												
令和5年度	2か所	・大宮岸松	・小山秋月												
															
		案内看板設置(乱橋瀑布)													
【塩田平伝統芸能大会】															
															
西前山お囃子保存会		石神大神楽保存会													
															
		新町氷上王子神社大々神楽保存会													

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
地域学習推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	文化財や歴史的風致の理解を深めるため、出前講座、シンポジウムなどの市民の学びの機会を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
出前講座や文化財修復にあわせた見学、文化財案内等計8回実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 出前講座  文化財修復現場見学会（常楽寺本堂）			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財de文化祭		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	市内の文化財を舞台に音楽演奏会等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の文化財を活用し親子向けのイベントを開催。(全2回) ・令和5年5月27日「親子で遊んで学ぼう!! 忍者山を走る!!」会場:真田氏本城跡(上田市指定文化財) 参加者:40名 ・令和5年12月8日「文化財de文化祭in旧宣教師館」会場:旧宣教師館(上田市指定文化財) 参加者:30名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財を地域資源として活用することが重要。企画・実施にあたっては地域連携を図り、地域全体で守っていく宝であるという理解を深めていく機会としたい。		
状況を示す写真や資料等			
  親子で遊んで学ぼう!! 忍者山を走る!!   文化財de文化祭in旧宣教師館 (クリスマスリースづくり) 文化財de文化祭in旧宣教師館 (ミニクリスマスコンサート)			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観ウォッチング		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に残る歴史的建造物や特色あるまちの景観を歩いて巡り、地域の魅力を再認識するイベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画で歴史的風致を紹介している地域において、景観ウォッチングを開催した。歴史文化に詳しい講師の解説を聞きながら歴史的建造物や街なみを散策した。 5月武石地域(子檀嶺神社、御柱祭行事ルート散策) 応募15名 参加9名 11月丸子地域(文殊堂、鹿教湯温泉郷散策) 応募17名 参加11名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	魅力的な景観に触れることで、歴史的建造物や歴史的なまちなみ等の価値が再認識され、保存や維持、活用の意識が高まることから、市全体の歴史的風致に触れる機会としたい。		
状況を示す写真や資料等			
 大宮諏訪神社  妙見寺  信広寺  温泉祖神  文殊堂  天龍寺			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
「観光地・上田」の誘客促進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	(一社)信州上田観光協会を中心に官民が連携し、歴史的建造物や町並み景観を生かした観光ツアーの造成、各種イベントを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・信州上田観光協会と連携し、上田城を含む城下町エリアや日本遺産をテーマとしたツアーの造成やガイド対応を行った。信州上田おもてなし武将隊が旧城下町を歩きながらガイドするツアーや、シェアサイクルを利用し日本遺産の地・塩田平を巡るとともに伝統食「おやき」作り体験を加えたツアーなどを造成した。また、城下町を巡るタクシーツアー造成やボランティアガイドによる城下町巡りのガイド対応を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	造成の内容や実施時期等について、今後関係者と協議を進める。	
状況を示す写真や資料等		
誘客事業の取り組み状況 ・信州上田おもてなし武将隊による城下町ガイドツアー ・信州上田おもてなし武将隊によるシェアサイクル・レイラインツアー(日本遺産) ・タクシーツアーによる城下町巡り ・ボランティアガイドによる城下町巡り 参加者 2人 参加者 4人 参加者 7人 参加者 8人 合 計21人   ※上記写真 信州上田おもてなし武将隊によるシェアサイクル・レイラインツアー (日本遺産)		

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
日本遺産推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	地域住民や交通・観光関連事業者が連携し、日本遺産のストーリーを活用した特産品等の魅力発信、名所・文化財を巡るツアー造成、関連イベントを実施する。 また、ストーリーを構成する文化財群の保存活用を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産のストーリーや文化財の素晴らしさの再認識するため、日本遺産認定3周年記念事業や日本遺産信州上田・塩田平検定、近隣の日本遺産認定地域である、千曲市、長和町と連携したスタンプラリーを実施することで、普及啓発を図った。併せて、観光誘客を図るため、テレビ・ラジオによるPRや、SNS広告等の情報発信を行った。 また、日本遺産商品造成セミナー・ワークショップを開催し、日本遺産のストーリーを活用した特産品等開発の機運の醸成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		市民の認知度もまだ高いとは言えない状況であることから、引き続き普及啓発と情報発信の2つの事業を基本に実施してまいりたい。	

状況を示す写真や資料等



日本遺産認定3周年記念
安楽寺大日如来像、中禅寺薬師如来坐像
の特別公開



日本遺産信州上田・塩田平検定



日本遺産信州上田・塩田平検定 受検対策講座
事前現地学習



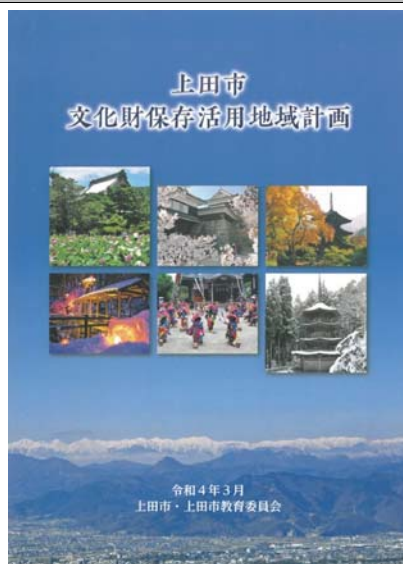
日本遺産スタンプラリー

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
文化財の保存または活用に関する事項		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	(1)文化財の保存・活用の現況と今後の方針(2)文化財の修理(整備)に関する方針(3)文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針(4)文化財の周辺環境の保全に関する方針(5)文化財の防災に関する方針(6)文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針(7)埋蔵文化財の取扱いに関する方針(8)教育委員会の体制と今後の方針(9)各種団体の状況及び今後の体制整備の方針		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度から30年度にかけて市内木彫仏の悉皆調査を実施したが、令和4年度からは、制作年代が古代や中世と推定されるものや特徴的な仏像を対象に詳細調査を実施している(令和6年度までの予定)。 調査を進めてきた前山の「前山寺本堂」ほか3件及び御嶽堂の「りんどう橋」が、11月24日の文化審議会において国の登録有形文化財に登録するよう答申された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		仏像調査の成果の公開が必要であり、報告書を作成するほか、市立美術館と共同で展覧会を計画し、準備を進めている。	

状況を示す写真や資料等



上田市文化財保存活用地域計画



仏像調査の様子



前山寺本堂



りんどう橋

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
文化財の修理・整備等について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	修理は、文化財の価値を維持、復旧することを目的とし、過去の修築や調査記録を活用し、国や県、文化財保護審議会、専門家の意見を踏まえ適切に行う。 史跡上田城跡については、保存活用計画を策定し、本質的価値を明らかにしたうえで、整備事業を適切に進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定文化財「常楽寺本堂」の屋根保存修理が行われ、補助金を交付した。市所有指定文化財においても、「旧宣教師館」や「上田城櫓」において、維持管理のための小修繕を実施した。 「史跡上田城跡保存活用計画」の策定を進めている。令和5年度からは「整備基本計画」の改訂に着手する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



常楽寺本堂（修理中の様子）



史跡上田城跡整備専門家会議

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財の防災に関する取組について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	火災予防対策として、自動火災報知機や消火設備等の防火設備の設置、消防署と連携した訓練や検査を実施し、万一の事態に備える。 耐震対策に関して、国指定等文化財は文化庁の指導に沿って対策を行い、県・市指定等の文化財については、所有者等の協力を仰ぎ現状を把握し、必要に応じて耐震対策を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
上田城跡の櫓(県指定)及び櫓門、旧倉沢家住宅(県指定)、旧宣教師館(市指定)において、防災設備の定期点検を実施した。 国・県指定文化財について、文化財パトロールを実施した。 重要文化財である国分寺三重塔について、防災設備の新設及び更新を検討しており、関係者と協議を進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
国・県指定文化財において、文化財パトロールを実施(9月～11月) 国指定文化財・・・21件 県指定文化財・・・28件 国分寺において、防災設備の更新等について文化庁調査官による現地指導を実施 令和5年9月22日 1月の文化財防火デーにあわせ、防災訓練を計画している。		

効果・影響等に関する報道

上田市-27

新型コロナウイルス感染症の影響により見送られてきた各種イベント等が再開され、中心市街地の賑わいに関する報道や、文化財に関する報道が行われている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

地域の歴史や文化に関する情報を発信し、歴史的風致の認識の向上を図る。

状況を示す写真や資料等



上田城シンポジウム



歴史まちづくりカード

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

観光地来訪者の状況

計画に記載している内容 観光資源の魅力を高め、有機的に連携させ、さらに集客力を高める取り組みを行うとともに、農業体験やグリーンツーリズムを推進するなど、新たな広域体験観光にも力を入れている。

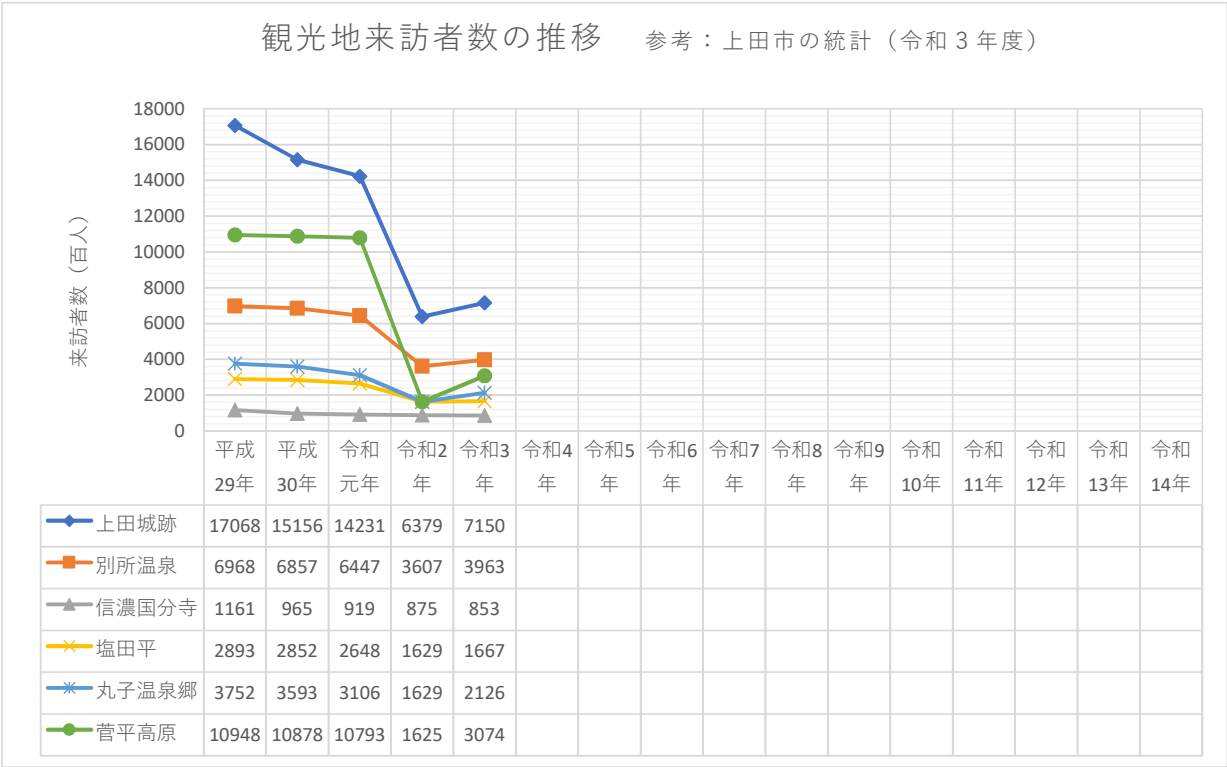
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光地来訪者※詳細は下記を参照(『上田市の統計』より)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」放送年以降、徐々に観光客数が減り、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。歴史的風致の維持向上や周辺環境の整備を推進していく。

状況を示す写真や資料等



単位：百人

■認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所一覧

様式 1

市町村名：上田市

[illegible]

■新旧対照表

様式 2

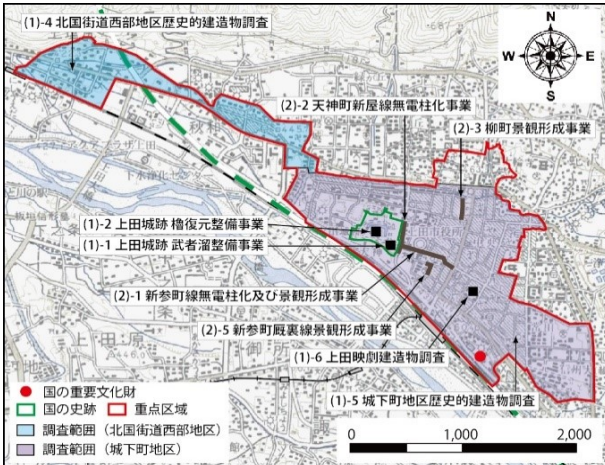
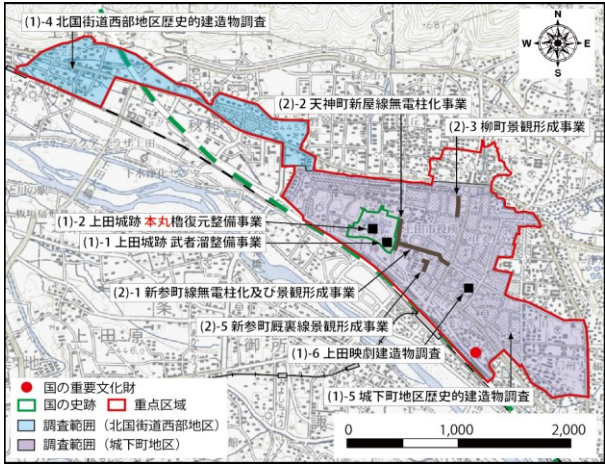
新	旧
塩田平は江戸時代 以前 からため池による灌漑が行われてきた	塩田平は江戸時代からため池による灌漑が行われてきた
初代上田藩主真田信之の妻 。	初代上田藩主真田信之の妻
現存唯一の木造八角 塔	現像唯一の木造八角等
しんしゅううえだぎおん さい	しんしゅううえだぎおんまつり
常田 獅子と同様	房山獅子と同様
全国的 にも	全国的でも
かんじょう 四国の霊場から勧請を許された	四国の霊場から勧請を許された
勧請が許された 。	かんじょう 勧請がゆるされた 。
ぎおん さい	ぎおんまつり
運営がなされ	運営さがなされ
真似たもの といわれ	真似たものいわれ
庁内組織 歴史まちづくり庁内推進会議 【構成】 檜復元推進室、政策企画課、財政課、財産活用課、市民参加・協働推進課、商工課、農地整備課、文化政策課、観光シティブロモーション課、土木課、上田城跡整備室、建築課、住宅政策課 (事務局) 教育委員会(生涯学習・文化財課) 都市建設部(都市計画課) 事業推進会議(実施事業の推進) 【構成】 檜復元推進室、財産活用課、市民参加・協働推進課、商工課、農地整備課、文化政策課、観光シティブロモーション課、土木課、上田城跡整備室、建築課、住宅政策課 報告   提案 事務局 【構成】 生涯学習・文化財課、都市計画課	庁内組織 (仮称) 歴史まちづくり庁内推進会議 【構成】 政策企画課、交流文化スポーツ課、財政課、財産活用課、市民参加・協働推進課、商工課、観光課、土木課、建築課、土地改良課 (事務局) 教育委員会(生涯学習・文化財課) 都市建設部(都市計画課) 事業推進会議(実施事業の推進) 【構成】 財産活用課、市民参加・協働推進課、観光課、商工課、土木課、建築課、土地改良課、 報告   提案 事務局 【構成】 生涯学習・文化財課、都市計画課
4 館 が ある。	4 館ある。
<重点区域内での実施事業> ・上田城跡武者溜り整備事業 <令和4年度～10年度> ・上田城跡 本丸 檜復元整備事業 <令和5年度～14年度>	<重点区域内での実施事業> ・上田城跡武者溜り整備事業 <令和4年度～10年度> ・上田城跡檜復元整備事業 <令和5年度～14年度>

埋蔵文化財包蔵地

埋文包蔵地

- 歴史的建造物の保存・整備・活用に関する事業
- (1)－1 上田城跡武者溜り整備事業
 - (1)－2 上田城跡本丸櫓復元整備事業
 - (1)－3 指定文化財防災設備設置推進事業
 - (1)－4 北国街道西部地区歴史的建造物調査

- 歴史的建造物の保存・整備・活用に関する事業
- (1)－1 上田城跡武者溜り整備事業
 - (1)－2 上田城跡櫓復元整備事業
 - (1)－3 指定文化財防災設備設置推進事業
 - (1)－4 北国街道西部地区歴史的建造物調査



事業名	上田城跡本丸櫓復元整備事業
事業主体	上田市
事業期間	令和5年度～14年度
事業手法	市単独事業

事業名	上田城跡櫓復元整備事業
事業主体	上田市
事業期間	令和5年度～14年度
事業手法	市単独事業

事業概要

地域の歴史文化などの魅力を高め、活力を生み出す活動に支援金を交付し、地域活性化とまちづくりの推進を図る。市内全域や住民自治組織単位の地域で実施される事業・活動を対象としている。



福祉施設での演奏の様子

看板設置の様子

事業概要

地域の歴史文化などの魅力を高め、活力を生み出す活動に支援金を交付し、地域活性化とまちづくりの推進を図る。市内全域や複数の地域で実施される事業・活動を対象としている。



福祉施設での演奏の様子

看板設置の様子

調査をし

調査し

令和 6 年度 上田市歴史的風致維持向上計画に係る事業一覧

資料 4

区分	番号	事業名	事業期間	令和 6 年度事業内容	今後の見通し	担当課
継続	3-1	上田城跡武者溜り整備事業	R 4 ～R10	▶ 武者溜りの整備 ・ 搬入搬出道路の整備及び生垣等の撤去 ・ 二の丸東虎口櫓台石垣、部塀台石垣及び三十間堀跡等の発掘調査 ・ 史跡上田城跡整備基本計画の策定作業	整備予定場所に立地している旧市民会館の解体、武者溜りの整備などを継続的に進める。	上田城跡整備室
継続	3-2	上田城跡本丸櫓復元整備事業	R5～R14	▶ 櫓復元に向けた取組の推進 ・ 復元資料収集に向けた懸賞金事業 ・ 西虎口櫓門等の資料調査 ・ 復元に向けた機運醸成	資料調査や機運醸成などの事業を継続的に進める。	櫓復元推進室
継続	3-3	指定文化財防災設備設置推進事業	R5～R14	国分寺三重塔について、防災設備の新設及び更新に向け補助の予算化を進める	所有者からの相談に対し、必要な支援を継続的に行っていく。	生涯学習・文化財課
継続	3-4	北国街道西部地区歴史的建造物調査	R5～R14	未実施建造物の調査に向け、所有者同意や予算化を進める。	調査環境が整った建造物について順次調査を進めていく。	生涯学習・文化財課
継続	3-5	城下町地区歴史的建造物調査	R5～R14	上田城に関連する建造物調査を実施予定。	調査環境が整った建造物について順次調査を進めていく。	生涯学習・文化財課
継続	3-6	上田映劇建造物調査	R3～R6	調査成果をもとに登録文化財や活用等について所有者と検討を進める。	保存・活用について所有者のサポートを進める。	生涯学習・文化財課
継続	3-7	重要文化財等修復補助事業	R5～R14	中禅寺薬師堂の茅葺屋根の修復の補助の予算化を進める	所有者からの相談に対し、必要な支援を継続的に行っていく。	生涯学習・文化財課
継続	3-8	新参町線無電柱化及び景観形成事業	H29～R6	無電柱化事業L＝70m 歩道美化化事業L＝110m	継続的に事業を実施する。	都市計画課
継続	3-9	天神町新屋線無電柱化事業	R4～R10	詳細設計の委託	無電柱化事業L＝250m	都市計画課
継続	3-10	柳町景観形成事業	R4～R7	民間建物修景について、事業検討委員会を設置して検討を進める。	民間建物修景への補助 1 件。	都市計画課
継続	3-11	空き家情報バンク事業	R5～R14	空き家を有効活用し、移住や定住を推進することで地域の活性化を図る。「空き家情報バンク運営安定化事業（民間委託）」の活用により空き家物件情報をHP上で提供、「空き家を貸したい、売りたい人」と「空き家を利用したい人」の橋渡しをする。	今後も空き家の増加が見込まれていることから、引き続き「空き家情報バンク運営安定化事業（民間委託）」を活用し事業の推進を図る。	住宅政策課

未着	3-12	新参町厩裏線景観形成事業	R4～R7	歴史的建造物周辺の景観整備に向けて、関係者と検討を進める。 竹柵修繕工事　L＝82m	歴史的建造物周辺の景観整備。	都市計画課
継続	3-13	無形民俗文化財後継者育成補助事業	R5～R14	無形民俗文化財を保持する団体への後継者育成に関わる助成や指導等の実施。	申請のあった団体に対し、要綱に基づき必要な支援を継続的に行っていく。	生涯学習・文化財課
継続	3-14	活力あるまちづくり支援金事業	R5～R14	令和６年度において採択された、地域の歴史文化やまちづくりなどに取り組む活動に対して、補助金による支援を行う。	継続的に支援を行う。	市民参加・協働推進課
継続	3-15	ふるさと上田先人顕彰事業	R5～R14	ふるさと上田先人館での常設によるパネル紹介及び巡回展示による普及啓発の実施。	継続的に事業を実施する。	生涯学習・文化財課
継続	3-16	住民自治組織によるまちづくり	R5～R14	歴史的資源や文化の保存など、住民主体により地域のまちづくりに取り組む住民自治組織に対して、交付金による支援を行う。	継続的に支援を行う。	市民参加・協働推進課
継続	3-17	地域学習推進事業	R5～R14	自治会や各種団体、教育機関等への出前講座の開催。	出前講座、文化財修復時の見学会等を実施していく。	生涯学習・文化財課
継続	3-18	文化財de文化祭	R5～R14	指定文化財を活用した事業の開催 年２回（予定）	継続的に事業を実施する。	生涯学習・文化財課
継続	3-19	景観ウォッチング	R5～R14	景観ウォッチングの開催 年２回（予定）	継続的に事業を実施する。	都市計画課
継続	3-20	「観光地・上田」の誘客促進事業	R5～R14	年間を通じた市内周遊旅行商品の提供	継続的に事業を実施する。	観光シティプロモーション課
継続	3-21	日本遺産推進事業	R2～R14	上田市日本遺産の普及啓発及び情報発信事業	継続的に事業を実施する。	文化政策課

※関係する令和６年度当初予算の成立が前提となるものであるため、内容が変更となる場合があります。